

# 12月の園だより

～笑顔あふれる  
育ちのひろば～  
令和6(2024)年12月9日  
社会福祉法人見真会 明光保育園

あっという間に短い秋が終わり、12月(師走)を迎えて本格的な冬がやってきました。全国的にインフルエンザやマイコプラズマ肺炎、ノロウイルスなどの感染症が流行し始めて、患者の増加も続いています。(県内にはインフルエンザ注意報が発令中です！)

日ごろからの健康づくりと手洗い、うがいで感染を防止し、もしもの体調の変化には、早期のかりつけ医療機関への受診、早期の治療で乗り切っていきましょう。

スポーツの秋、10月12日(土)には、幼児クラスの運動会を開催しました。テーマは、パリ・オリンピックに呼応して「とどけ せかいへ みんなの えがお」、子どもたち一人ひとりの笑顔が輝くことを目指しました。

また、初めてクラスごとに園児が考えたスローガンを掲げて取り組みました。

## ○白組：「仲間を信じて 心をひとつに」

練習を積み重ねていく毎に、仲間と心を一つにして、力を合わせる大切さに気づき、声を出し、仲間を励まし、創意工夫を重ねて、諦めず練習し、仲間とともに乗り越えました。

## ○青組：「力をあわせて さいごまで！」

一人ひとりの個性を大切にしながらも、集団での活動を最後までやり遂げ、仲間とともに、その喜びや楽しさ、大変さを共有することで、チームワークを育むことができました。

## ○黄組：「元気いっぱい 笑顔いっぱい！」

子どもたちは、初めての大舞台、お父さん、お母さんに見てもらいたい！と、最後まで笑顔で元気よく頑張ることができました。

4月の就学や進級に向けて、養護では、安心、安全な生活環境を整え、園児一人ひとりの個性や思いに寄り添い、愛着、信頼関係を深めながら、教育では、10分野の豊かな支援や活動を展開することで多様な視点から一人ひとりの特性や能力を伸ばし、学習への基礎を育むことを目指し、「子どもを真ん中に一人ひとりの子どもを主体とした保育」を実践していきます。

## ◇◇◇ とどけ せかいへ みんなの えがお ◇◇◇

黄組～未来に種をまこう



青組～みんなで夢にチャレンジ～



入場行進



白組～とどけ世界へみんなの笑顔～

＜乳児運動あそび参観・懇談会の開催＞  
・日時 令和7年1月18日(土)  
・ひよこ 9:30・赤組 10:10・桃組 10:50  
・会場 織田幹雄スクエア 3階  
※詳細は後日お知らせします。

○感染症登園基準の変更について○  
インフルエンザや新型コロナウイルスに感染した場合の再登園に必要な期間要件を「医師の診断を受けた日の翌日から5日」を「症状が出た日の翌日から5日」に変更しました。※詳細は改めてお知らせします。

～卒園児4名の職場体験を受け入れました！～  
9月3日(火)～5日(木)に、海田西中学校で保育士になることを夢見る卒園児4名が保育所の職場体験に訪れました。保育士には、子どもと遊ぶだけでなく、健康観察、衛生管理、環境整備、教育支援などの多くの仕事があることを知った、子どもたちがかわいかった、給食がおいしかった、社会人としてのマナーや礼儀、ルールを学ぶことができたなどの感想がありました。保育士になる夢を実現させて明光保育園に戻ってきてくれることを願っています。



～秋の遠足(白、青、黄組)～  
・10月18日(金)青、黄組は明神公園に徒歩で、  
・10月25日(金)白組は、呉ポートピアパークにJRに乗って遠足に出掛けました。  
公園でサッカー競争や色づいた落ち葉やどんぐりを探したり、白組は、フェリー乗船やみかん狩りを体験し、秋を五感で感じながら、大切な思い出づくりができました。



～文化の日のついで(入賞表彰式)～  
11月1日(金)文化の日のついでを行いました。一人ひとりの「いいところ」をメダルに書いてもらって参加し、日本の文化である童謡(とんぼのめがね、どんぐりころころ、まっかな秋)を歌い、鈴やカスタネットなどで音を奏でました。  
また、「筆の里 ありがとうの ちよと大きな 絵てがみ」の入賞者4名の表彰式を行いました。



～勤労感謝の日について～  
11月23日の勤労感謝の日に合わせて、保護者の方をはじめ、様々な職業について知り、たくさんの人々によって、みんなが安心して暮らせることに気づき、働いている人への感謝の気持ちを育みました。  
八百屋さん、交番のお巡りさん、消防署の消防士さんに感謝の気持ちを届けました。

日	月	火	水	木	金	土
8	9	10 人権デー 体操のひろば (白・桃組)	11	12		14
休日保育	休日保育	17 体操のひろば (青・黄組) 避難訓練 (火災)	18	19 食育の日	20	21 冬至
22	23	24 体操のひろば (白・桃組)	25 クリスマス会 誕生日会	26	27 お正月を迎える会 大掃除・調整会議	28 土曜日保育 仕事納め
29	30	31	1月1日 元旦	2	3	4 開園 土曜日保育
休園日(12月29日～1月3日)						
5	6 小寒 おめでとうの会 初詣	7 体操のひろば (白・桃組)	8	9 幼児会議	10 鏡開き お正月遊びの広場 乳児会議	11

園だより担当 園長代理:原田 電話(082)824-7801 (URL) <https://kenshin-meikou.jp>  
FAX (082)824-8030 メールアドレス info@kenshin-meikou.jp

## 子どもの姿と子どもの育ち（園児101人）

### ～笑顔あふれ、元気に育つ～ ひよこ組 【0歳児 12人】担任:奥崎 副担任:蒲生

目標『愛情を受け止め、五感を磨き、全身を使って思いを表現できる』子ども

子どもたちは、ゆったりとした時間の流れの中で、一人ひとりにしっかりと向き合っており、思いに寄り添い、思いを受け入れ、不安の解消や欲求に応えることで、情緒的な安定を築き、愛着関係を深めています。

子どもたちは、安心感の中で「これは何だろう」「あの人はだれ」などの気持ちが育まれ、気に入った玩具で遊んだり、身近な人や物などに興味を持ち、活発に動き回る範囲が広がっています。また、声や表情だけでなく、自分の思いを喃語（なんご）や指差して一生懸命に伝えようとしています。外での遊びも大好きになりました。

赤組への進級に向けては、自分の気持ちや欲求を表現できるように、言葉での代弁による発語の意欲を高めています。

また、手遊び歌や、絵本の読み聞かせ、触れ合い遊びをとおして、他の園児や身近な人や物への興味を持ち、関わりが広がるように支援していきます。



### ～自分の思い、いっぱい育む～ 赤組 【1歳児 17人】担任:金井 副担任:森戸

目標『人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる』子ども

子どもたちが自分の思いを言葉で表現したり、周囲とのコミュニケーションの基礎が育まれるよう、子どもたちに寄り添って、「～ができたね」「～が楽しかったね」など、その一瞬、一瞬の出来事の感動を共有して、丁寧に言葉にして伝えていきます。

子どもたちは、言葉を使って子ども同士で玩具で遊んだり、顔を見合わせて笑い合ったりとクラスの中にコミュニケーションの輪が広がってきています。また、遊び、食事、排泄、午睡などの生活リズムも身に付いてきて、食事やズボンの着脱、製作など、色々な生活の場面で、自分でやりたい気持ちが育っています。

子どもたちが“自分でしたい”という気持ちを大切に見守り、“できた”と一緒に喜び合いながら、自信を次へのチャレンジにつなげていきます。



### ～明るく、伸び伸び、自分らしく～ 【桃組 2歳児 17人】担任:栗林 副担任:倉留

目標『自我と感性を育み、自分から自分の思いを表現できる』子ども

子どもたちは、一人遊びから、仲の良い子ども同士での遊びへと活動が広がっています。遊びやふれあいが広がることで、子ども同士のいざこざや喧嘩、トラブルが増えていますが、職員が仲立ちをして、互いの思いに寄り添い、気持ちを代弁して相手に伝え自分と相手の思いの違いに気づき、自分から解決策を見出せるように支援しています。

少しずつ自分の思いを自分の言葉で相手に伝えたり「ごめんね」「いいよ」などと折り合いも付けられるようになってきています。

これから、簡単な決まりや約束を守る遊び、触れ合い遊び、園外の活動で、みんなで遊ぶ楽しさを実感できるよう支援していきます。



### ～したい、やりたい、やってみる～ 黄組 【3歳児 19人】担任:松本 副担任:相原

目標『自分らしさを発揮し、主体的に興味・関心を深め、活動できる』子ども

子どもたちの『やってみよう』を実現していくために、一人ひとりの思いをじっくり聞いたり、仲立ちしながら子どもたちと話し合いをして『やってみよう』につながるように支援してきました。その中で、仲間の思いや気持ちに気付いたり、折り合いをつけて、受け入れたりできるようになってきています。また、子ども同士で「ありがとう」「ごめんね」「一緒にあそぼう」などの言葉が自然と出るようになって、自分の思いを伝え、相手を思いやる気持ちも育まれてきています。

これからは、身近な物から文字や数字への興味が高まってきており、図鑑やカルタ遊び、ワークブックを活用して、子ども自身の気付きや一人ひとりの個性を尊重しながら知的な好奇心を伸ばしていくよう支援します。



### ～みんなつながり、思い広がる～ 青組 【4歳児 19人】担任:今田 副担任:乃美

目標『仲間の一人として生き生きと行動し、自分らしさを表現できる』子ども

子どもたちが、自分がクラスの一員として、クラス内での活動や役割、責任を意識することができるよう、みんなの前で自分の言葉で思いを伝えたり、みんなの話や思いを聞いて、一緒に考え、意見をまとめていく時間を大切にしました。このことを通じて、自分とは違う思いや感じ方があることを知り、みんなの思いや考えを一つにしていく難しさを学んでいます。また、運動会では、仲間の存在を認め、息を合わせたバルーン競技に取組みました。「手をピンとあげたらきれいなんよ」「この時の向きはこうだよ」と互いに励まし、教え合い、成功したことを喜び合うことで、仲間と一緒に協力して、やり遂げることの大切さを実感し、チームワークが育まれています。

一人ひとりの個性を大切にしながら、仲間を認め合い、互いにクラスの一員として活動していくことができるよう、生活や遊びの中でグループ活動を取入れ、仲間と考え、意見を出し合い、協力し、互いに認め合うことができるよう支援していきます。



### ～思いやり、助け合い、行動する～ 白組 【5歳児 17人】担任:島崎

目標『仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる』子ども

一人ひとりの個性を大切に伸ばしながら、デイキャンプや運動会、遠足、共同製作など様々なことに向かうクラスの仲間との挑戦を支援してきました。

子どもたちは、主体的な話し合いや準備、練習、そして仲間と一緒にやり遂げることができた成功体験を重ねることで、大きな自信や自己肯定感につなげています。

この中では、誰もが、できないことへの悔しさに気付いたり、できる仲間が苦手な仲間にもコツを教えてたり、応援したり、仲間が達成できた時は、自分のことのようにみんな喜びを共有することができ、仲間との絆や思いやりの気持ちも育まれています。

就学へ向けては、これまで育んできた、思いやり、助け合い、行動する力や行事などで育んできた絆を大切にしながら、仲間と共通の目的や目標を持ち、協力し、成し遂げていく力や見通しを持って意欲的に行動できる力が、さらに高まるように支援していきます。